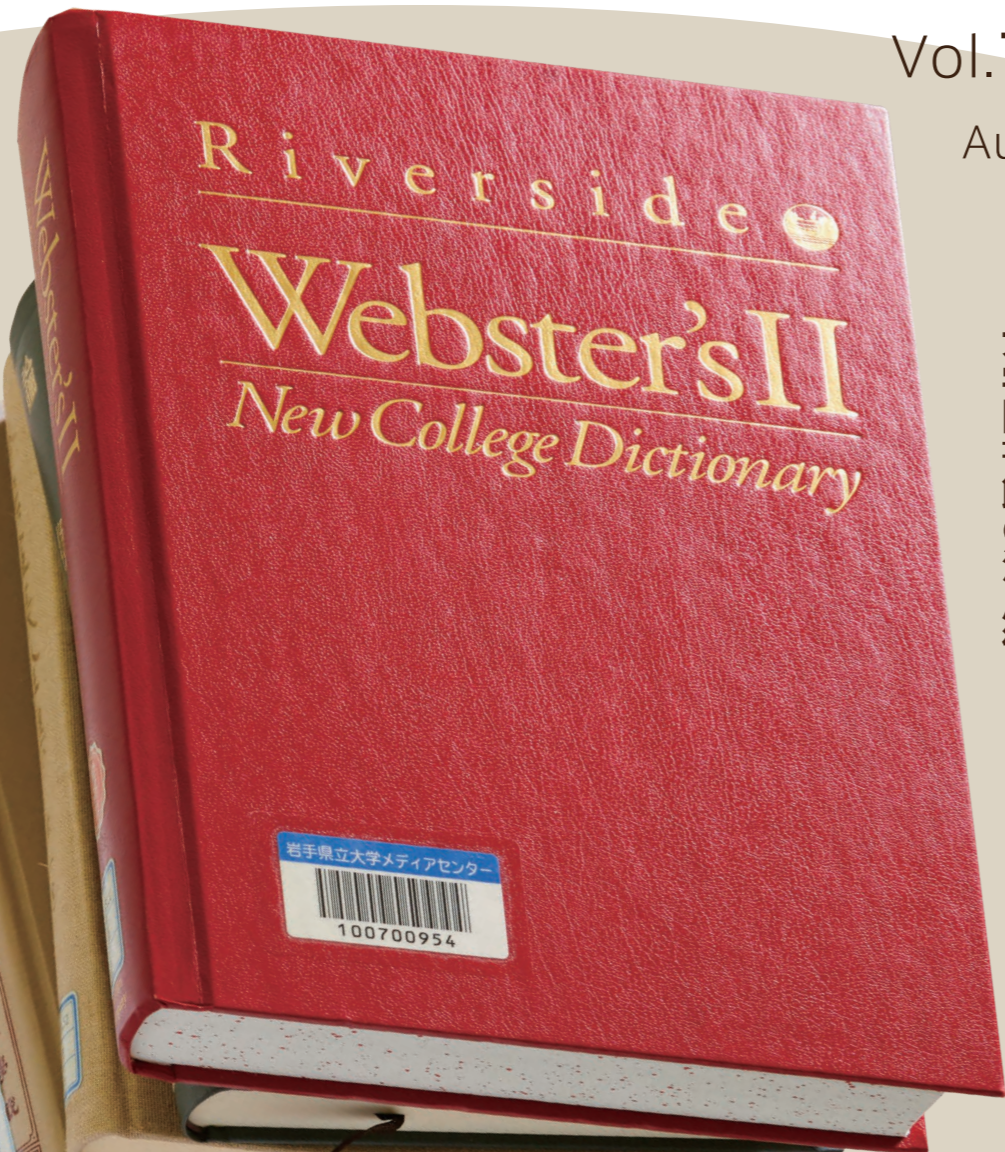


県立大Arch

Vol.73 Autumn



あなたの知力は、まだまだ伸びる!?

大学図書館の活用術!

岩手県立大学の魅力を発信すべく日々活動する学生団体、キャンパスアテンダント(CA)。そんなCAたちが、県大生の県大生による県大生の今を伝えます。(*'▽*)

ケンダイ★広報局

学生★企画

今回のテーマ「CAちゃんねる」
新しくなった広報誌[県立大Arch]第1弾ということで、今回はこのページを担当する Campus Attendant の活動をご紹介します!!



オープンキャンパス

大学生活紹介

のんちゃんの大学生活紹介

Campus Attendant 社会福祉学部 人間福祉学科 2年 樋口 郁乃

オープンキャンパス

7月2日に行われたオープンキャンパス!たくさんの方にご来場いただき、大盛況でした!次回は10月21日(土)、10月22日(日)の大学祭にもぜひお越しください!

高校訪問

普段、県大に足を運びにくい場所にある高校や、県大へ進学する高校生が多い高校を中心に、私たちCAが直接高校へ出向き、県大の魅力や大学生活について紹介をする活動です。

キャンパスガイド

CAカフェ

アイーナキャンパスにて開催されている、お菓子とジュースをお供に大学生とカフェのような雰囲気でお話できる企画です!受験対策や大学での様子などなんでも聞いてくださいね!

なんでも相談室

なんでも相談室は大学祭で実施している活動です。気軽に雰囲気よくCAと高校生がおしゃべりできるイベントとなっています。入試の相談・大学生活についての疑問などなんでも気軽に相談ください!

大学祭

CAカフェ

なんでも相談室

岩手県立大学 企画室 Iwate Prefectural University 〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52 TEL.019-694-2005 FAX.019-694-2001 [URL]http://www.iwate-pu.ac.jp/ [e-mail]management@m1.iwate-pu.ac.jp

- [看護学部] [社会福祉学部] [ソフトウェア情報学部] [総合政策学部] [盛岡短期大学部] [宮古短期大学部]
- [看護学研究科] [社会福祉学研究科] [ソフトウェア情報学研究科] [総合政策研究科]

発行:2017年9月30日

Copyright © 2017 Iwate Prefectural University All Right Reserved.



大学図書館の活用術!!

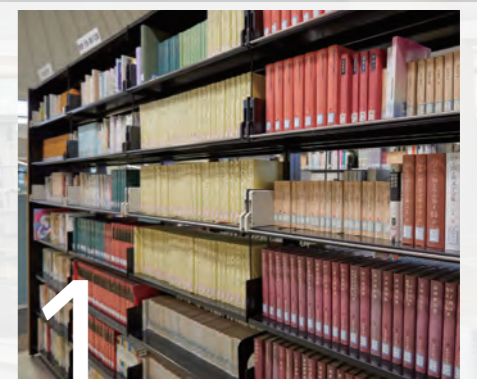
大学ならではの専門書や新聞・雑誌、映像やインターネットまで、様々なメディアを取り揃えた岩手県立大学と宮古短期大学の図書館。一般にも開放されているので、仕事や勉強などいろいろな目的をもっと深めてみよう。

なメディアを取り揃えた岩手県立大学と宮古短期大学の図書館活用できるスペースだ。大学図書館を賢く利用して、知識や教養

もっと、
気軽に利用しよう!!



様々な分野の専門書がいっぱい、勉強や仕事にも活用できる!!



大学の図書館というと「敷居が高く入りにくい」「関係者しか利用できないのでは?」と思っている人も多いかもしれないが、実は一般に広く開放されていることをご存知だろうか。

約26万冊の図書を所有する岩手県立大学のメディアセンターと約5万冊の蔵書がある宮古短期大学部図書館も然り、手続きさえすれば誰でも自由に利用できる図書館だ。県や市町村が運営している図書館と違って特徴的なのが、学術研究に関係のある専門書が多いこと。滝沢キャンパスでは、看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部、盛岡短期大学部、高等教育推進センターに関する専門書を豊富に揃えている。

また、館内には「本学関連コーナー」が設置されており、大学の研究紀要や

中高生から大人まで
気軽に使える学びのスペース



静かな環境で集中して勉強や仕事をしたい人におすすめののが、4階吹き抜けに沿って配置した開放感のある学習席と、窓から美しい岩手山や四季折々の自然が眺められる3階・4階の閲覧席。これらの学習スペースも広く開放されており、一般の人や近隣の高校生が勉強や調べ物のためによく利用している姿が見かけられる。

メディアセンターの入口付近にある「多目的スペース・風のモント」も、自由に利用できる学習スペース。会話や飲食をしながら勉強できる上、図書館の開館時間以外にも使えるため、学生はもちろん、一般の利用者にも好評だ。

震災関連の報告書などを閲覧できるようになってきている。特に看護や社会福祉分野の専門職の人は、仕事や研究に使うために利用する割合が高いとか。一歩踏み込んだ勉強や仕事の知識を蓄えたい人には、ぜひ利用をおすすめしたい。

新聞・雑誌はもちろん、
映像の視聴も自由にどうぞ



本の貸し出しだけでなく、様々な情報を入手し、活用できるのが、本学のメディアセンター。一般雑誌や書店ではお目にかかれない専門情報誌、国内の各種新聞などに加え、外国語を勉強している学生や教員のために英語、フランス語、中国語、ロシア語の新聞を取り寄せている。

また、AVコーナーでは、映画やドキュメンタリーなどの視聴覚資料を視聴することも可能なほか、調べ物をしたい人には無料で使えるインターネットコーナーがおすすめです。

図書館の案内から独自の企画まで
本好きの学生スタッフが活躍!



このような図書館利用をサポートしてくれるのが、ライブラリー・アシスタント(LA)と呼ばれる学生スタッフだ。本の借り方や資料の検索の仕方など、利用のイロハを教えてくれるだけでなく、LA独自の企画も立案している。

例えば「社会人としてのスキル・マナー」といった学生が興味を持ちやすいテーマや、話題の作家特集、LAメンバーのおすすめ本など、学生目線を選んだ本の企画展示や、本の魅力を紹介し合う書評コンテスト「ビブリオバトル」の開催、図書館だよりの制作補助もしている。

LAの目印は、えんじ色のエプロン。わからないことがあったら、気軽に声をかけて教えてもらおう。

創立20周年に寄せるメッセージ

2018
20th Iwate Prefectural University

来年の2018年6月、岩手県立大学は創立20周年を迎える。「地域の大学」として地域に根ざした教育・研究活動を実践し、これまで輩出した卒業生は約1万2000人(平成29年4月現在)。記念すべき年を目前に控え、大学へ寄せる想い、これから期待することなどを教員たちに聞いた。



盛岡短期大学部国際文化学科長 石橋 敬太郎 教授



私は前身の岩手県立盛岡短期大学時代から教員を務めていますが、国際文化学科は岩手県立大学の開学時に創設され、世界に羽ばたく人材を育てるための新しい学科。生活科学科は、衣服と住居を学ぶ生活デザイン専攻と、栄養士を育てる食物栄養学専攻があり、共に多くの人材を輩出してきました。

この20年の間に学生も活発になり、外部コンテストや海外研修、ボランティアなどにも参加し、学生に自主性と積極性が生まれています。印象深いのは、10年前にシェイクスピア学会を開催した時のこと。全国から集まった先生方に「とても良い学生がいますね」と褒められたのが嬉しかったですね。

盛岡短期大学部の魅力は、学生たち自身。彼らが育ててきたことが大学の土壌をつくり、学ぼうとする意欲が教員を触発してくれる。今後は、学科専攻の枠を超えた新たなことにも挑戦していきたいと考えています。

岩手県立大学社会福祉学部 吉田 仁美 准教授



私は赴任して5年目なのですが、実は15年くらい前にシンポジウムに出席するため岩手県立大学を訪れたことがあるんです。その時はまだ大学院生で、岩手山の美しい姿とキャンパスがきれいなことが印象に残っていますね。

縁あって教員となったわけですが、社会福祉学部は就職率が高く、卒業生の多くが専門職に就いています。学びと仕事が直結しているため、大学で身につけた知識を仕事の現場で生かすことができるのが特徴。調査やボランティアを通して地域との関わりも深く、専門職に就いた卒業生とは研究の協力や共に学ぶ仲間として、良い関係を築いています。

今後の大学を考えた時、必要となるのは明確なビジョン。何を目指していくのかをはっきりと打ち出せば、教員サイドで議論できる場も生まれるはず。大学独自の個性を育てることが大切だと思います。

20th anniversary messages

大学図書館の活用術!!



多様な学習スタイルに合った 様々な学びのスペースを提供

メディアセンターでは、学生たちが主体的に学べるように「ラーニング・コモンズ(学びのための共有空間)」機能を導入している。個人で集中して学習できるスペースのほか、インターネットや資料を利用してレポート作成ができるスペース、パソコンやホワイトボードなどを使ってグループ学習ができるスペース



入などを用意。多様な学習スタイルにあった様々な場を提供している。

ご利用案内

滝沢キャンパス メディアセンター

【開館時間】

■ 通常期間 / 月曜日～金曜日・9:00～21:00 土曜日・9:00～17:00

■ 夏季・冬季・春季休業期間 / 月曜日～土曜日・9:00～17:00

【休館日】

日曜日・祝日、開学記念日6月19日、図書等整理日(毎月末日)、年末年始(12/28～1/4)ほか
※詳細は館内掲示板やホームページをご確認ください。

【利用者カード】(学外利用者対象)

図書の貸出を希望する方に「メディアセンター利用者カード」を発行します。現住所が確認できる身分証明書を持参し、カウンターにてお申込みください。

※詳しくはホームページをCHECK!

<http://www.iwate-pu.ac.jp/information/mediacenter>



宮古短期大学部 図書館

【開館時間】

9:00～18:00

【休館日】

土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)、学内行事日、蔵書点検日

【利用】

利用を希望する方に、「利用者カード」を発行します。現住所が確認できる身分証明書を持参し、カウンターにてお申込みください。※詳しくは、当館までお問合せください。

滝沢・宮古の両キャンパスで
ユニークな取り組みがいろいろ!

学生おすすめの
本もチェックして
ください!!

5

本を読むきっかけをつくるため、両キャンパスで行っているのが学生たちによる「選書ツアー」。これは図書館に揃えたい本を学生が書店に向いて直接選ぶ企画だ。他にも滝沢キャンパスでは、学部教員を招いてお昼を食べながら話を聞くランチ講座や、ベストリーダーなど様々なテーマによる企画展示、図書館利用講習やデータベース利用講習の開催など、多彩な企画を行っている。

未来に向かって、新たなアクションを起こす学生がいます。地域の先を見据え、活躍している卒業生がいます。彼らが何を思い、どんな活動をしているのか。それぞれの扉を開けてみましょう。

子どもたち一人ひとりに向き合い、
安心して頼られる「保健室の先生」に。



卒業生

久慈市立侍浜小学校 養護教諭

鈴木 はつき

1989年岩手県盛岡市出身。岩手県立盛岡第二高校卒業。大学時代は、第一回目の体育祭や大学生協の学生組織を立ち上げるなど、積極的に活動。最近の楽しみは、同僚たちとおいしいものを食べ歩くこととか。



看護師として働いた経験が、養護教諭の仕事にも生かされていると話す鈴木さん。

幼い頃から憧れだった看護師になるため、岩手県立大学看護学部に進学。一直線に夢を目指していましたが、教職課程の学びで教育の面白さに目覚め、養護教諭の道へ進路を変更したんです。4年の時は試験に落ちたのですが、神奈川県で看護師として働きながら2度挑戦。この春、本採用になり、久慈市立侍浜小学校に赴任しました。

養護教諭の仕事は、児童の心身の健康や生活習慣の管理、保健指導が中心ですが、清掃や給食、学校行事などの指導も担当。子どもたちは胸の内をうまく言葉にできませんから、保健室だけでなく、休み時間などの様子を観察しながら、一人ひとりの変化に気を配るようにしています。養護教諭は学校で私一人ですので、先生方との連携はとても大切。児童の情報共有はもちろん、自分が何をしたいのかを発信し、協力してもらえようという気持ちでいます。

昨年卒業した養護教諭を中心とした会で、学びの場と仲間が広がりました。少しでも自分を向上させ、子どもたちの心の声に聞き合えるよう頑張っていきたいと思っています。

チームで提案した
「いわての名物バーガー」が商品化。
行動すれば、チャンスが広がる。



在学生

総合政策学部3年

本山 博仁

1996年岩手県遠野市出身。岩手県立花巻北高校卒業。子どもの頃からサッカー好きで、大学でもサッカー部に所属し部長を務めるほか、社会人チームにも参加。身体を動かすことが何よりの気分転換、というスポーツマン。



「いわての名物バーガー」の商品開発では、企業の方と一緒に案をブラッシュアップ。

サッカーの少年団に所属していた子ども時代、いつも地域の応援に支えられていた経験から「公務員になって恩返しをしたい」と思うようになりました。その夢をかなえるため、進学先に選んだのが岩手県立大学総合政策学部。社会や経済、政治など幅広く学べ、地域と連携した活動や研究も盛んなところも魅力だと思いました。

入学して改めて「県立大は、いろんなチャンスに巡りあえる場所」だと実感しています。例えば、授業で「いわての名物バーガー」の商品開発に取り組んだのですが、私のチームが最優秀賞に選ばれ、この秋商品化されました。アイデアの具現化には多角的な視点が必要で、何度も試行錯誤し大変だったけど、貴重な体験となりました。

ほかにも、実践的な地域づくりを学ぶ「地域創造学習プログラム」や海外研修にも参加。ローカルに根ざしながらグローバルな視点を学べるのも、県立大のよさだと思っています。これからもいろんな学びの機会に出会い、夢をかなえる力を身につけていきます。

教職員の働き方・生き方を 大事にできる環境づくりを！

8月上旬、大学の教職員の子どもたちが参加して「夏休み子ども職場見学」が行われた。これは男女共同参画の取り組みの一環で、親の仕事への理解を促すもの。岩手県立大学では、教職員のキャリアアップの支援や働きやすい職場づくりを目指して、様々な取り組みを始めている。

8月に行われた「夏休み子ども職場見学」では、教職員の子どもたち14名が参加。盛岡短期大学部や看護学部を見学し、興味深そうに話に聞き入っていた。



働きやすい職場づくりに、 教職員みんなで取り組む

男性女性に関係なく、教職員が仕事と暮らしを両立できる環境づくりは、一人ひとりがより良い人生を送る上でとても大切なこと。特に多くの学生を教え導く教育現場では、教職員の働き方・生き方は学生が今後の人生を考える際に、ひとつの手本となり得るはずだ。

男女共同参画といった場合、多くの大学では女性教職員数の増加や役職への登用などに重点が置かれるが、看護学部や社会福祉学部のある岩手県立大学では、もともと女性教職員が多く、女性の参画は当たり前のこと。大学の個性を生かした参画のあり方を考えるため、本学では平成25年度からニーズ調

査を実施し、平成26年度には社会福祉学部を中心とした教職員の有志が子育て支援活動を行うなど、働きやすい環境を整えるための取り組みを段階的にスタートさせた。

平成27年度には、全学で男女共同参画を推進していくため、教職員とアドバイザーで構成される中核組織「男女共同参画推進センター」を設置。さらに推進協力員として各学部等の教職員が参加し、現場視点から、働きやすい職場づくりを目指した活動を始めている。

現場の意見を生かしながら 大学らしいあり方を模索中

この4月、鈴木厚人学長が先導して「右手県立大学 男女共同参画推進のための学長宣言」を出し、男女共同参画の実現と働きやすい環境整備などに積極的に取り組んでいく指針を打ち出した。

学内の意識も高まっており、週休日の臨時託児の実施や教職員同士で意見交換を行うランチミーティングの実施、男性教職員で子育てについて語り合うイクメン座談会の実施など、仕事と家庭の両立に関する様々な話し合いや取り組みが進められている。右ページで紹介した「夏休み子ども職場見学」もその一つ。大学がどんな場所で、親たちがどのように働いているのかを、子どもたちに

「子育てや介護、男性の育児休業の取得、女性のキャリアアップなどを見据え、いかに働きやすい職場をつくっていくか、教職員自らで考えていくことが大切。現場から出る意見やアイデアを生かしながら、ベストなやり方を模索しています」と、石堂淳センター長。病児保育や学会出張時のベビシッターの派遣といった具体的なサポートの検討も始まっており、県立大学らしい環境づくりが進んでいる。



男女共同参画推進センター長の石堂淳副学長。

知ってもらうことで、仕事への理解を深めてもらう取り組みだ。

この4月に出された「学長宣言」の内容。鈴木学長は副学長を務めた東北大学でも男女共同参画を推進しており、積極的に教職員を後押ししている。



平成27年7月に行われたオープンキャンパスでの託児の様子。

Let's Enjoy CAMPUS Life

岩手県立大学のメインイベントを仕切るのは、総勢70名による大学祭実行委員会。総務部、広報部のほか、模擬店や様々なイベントを取り仕切る企画部があり、10月の開催に向けて5月から準備に取りかかるという。半年間にわたる長丁場に加え、外部の人も多く関わるため、スケジュール管理や参加団体との交渉など、やらなければならぬことは山積み。苦勞も多いですが、準備を通して物事を進める時の視野が広がったり、学生同士の交流が広がったり、コミュニケーションスキルが身につくなど、成長できる部分があるというあります。委員長の小野峻明さん「フトゥエ情報学部・2年」は言う。今年のテーマは「Magic」魅せよう笑顔の魔法。委員会メンバーが「みんなて大学祭を作り上げていくのが楽しい」と口を揃えるように、力を合わせて笑顔あふれる大学祭を目指している。



☆主なイベント紹介☆

模擬店
今年もたくさんのお店が出店します！おいしい食べ物を片手に大学祭を楽しんでみませんか？皆さんのご来場お待ちしております！！

講堂イベント
講堂では、充実した音響機材や照明を用いてダイナミックな演出を行います！大迫力の発表をどうぞお楽しみください！！

学内イベント
サークルや有志団体による発表やパネル展示！カフェもあります！個性あふれる学内イベントへぜひ足を運んでみてください！！

ステージイベント
今年も笑顔いっぱいのステージを行います！楽しい企画や団体の発表、アーティストライブなど見所盛りだくさん！ぜひステージへ☆

創作イベント
創作イベントでは、岩手県立大学大学祭を盛り上げる企画を行います。今年もお化け屋敷が・・・？ぜひ遊びに来てね～☆

岩手県立大学 大学祭実行委員会

学内のメインイベントである大学祭のすべてを仕切る、大学祭実行委員会。1年生53名、2年生17名で総勢70名の大所帯。ボーリング大会やキャンプなど、メンバー同士の交流を図るレクリエーションも盛んに行われている。



宮古短期大学部 学生会

学生会の執行部は、1年生10名、2年生7名の総勢17名。大学祭やゼミ対抗で競い合うスポーツ祭など、様々な学生活動の運営を行っている。



「蒼翔祭(そうしょうさい)」と呼ばれる宮古短期大学部の大学祭は、近隣の人々も楽しみにしている一大イベント。その準備から当日の運営まですべてを取り仕切っているのが、学生会執行部だ。「今年は例年以上に来場者を増やし、学生がもっと主体的に参加する大学祭に。特にダンスや軽音楽などのサークル発表に力を入れ、お客様に楽しんでもらえるようにしたいです」と話すのは、執行部の嵯峨里珠那さん(2年)。恒例のゼミや学生会による模擬店の内容も多彩で、地元の名産を使用した商品の提供を考えているゼミもあるそう。「大学祭は学年を超えた交流が広がり、気持ちひとつになれる」と越川しのんさん(2年)が話すように、学生たちが一丸となって取り組む大学祭。今年も「輝(かがやき)」のように、学生一人ひとりが主役として輝く大学祭になるはずだ。

Let's Enjoy CAMPUS Life

■大学祭・滝沢キャンパス／10月21日(土)・22日(日) テーマ Magic ~魅せよう笑顔の魔法~

- 主なイベント紹介
- フルコース食べきれ!**
用意された2種類の食材を見極める
- リアクションバトル**
嘘をついているのは誰だ!?
- 男女男男女挑戦**
男装・女装してゲームに挑戦!
- マジック25**
クイズ正解でパネルを勝ち取れ!
- アームレスリング**
大学最強を競う、机の上のムキムキ対決!
- 大乱闘スマブラ大会**
大画面でのスマブラバトル!!
- イントロDONE**
2人1組で競い合うイントロクイズ

ステージイベント(21日)		
日程	時間	イベント名
21日(土)	9:40 ~ 10:00	オープニングセレモニー-1日目
	10:15 ~ 10:35	岩手県立大学さんさ踊り
	11:00 ~ 11:55	ガンライザーショー
	12:00 ~ 13:00	60分企画
	13:10 ~ 13:40	30分企画
	14:00 ~ 14:30	ギタクラLIVE
	15:00 ~ 16:00	60分企画
	16:20 ~ 16:50	エレクトーン
	17:00 ~ 17:30	アカベラ
	18:00 ~ 19:00	中夜祭

ステージイベント(22日)		
日程	時間	イベント名
22日(日)	9:40 ~ 10:00	オープニングセレモニー-2日目
	10:15 ~ 11:00	ガンライザーショー
	13:00 ~ 14:00	アーティストライブ
	14:30 ~ 15:00	SEGMENT
	15:20 ~ 15:50	JAM!
	16:10 ~ 16:40	軽音ライブ
	17:20 ~ 19:00	グランドフィナーレ

○両日同時開催 模擬店/サークルや有志団体による発表やパネル展示/お化け屋敷/プラネタリウム/合格祈願ができる県大神社/フリーマーケットなど



■大学祭・宮古キャンパス／10月28日(土)・29日(日)

テーマ **かがやき 輝**

講堂前イベント(21日のみ)			
日程	時間	企画・団体	
21日(土)	11:30 ~ 12:00	マンドリン	
	13:00 ~ 13:40	6限(弦)	

短大棟前イベント(21日)			
日程	時間	企画・団体	
21日(土)	10:00 ~ 11:00	アカベラ	
	14:15 ~ 15:10	ダンス	
	16:00 ~ 17:00	ダブルダッチ	

短大棟前イベント(22日)			
日程	時間	企画・団体	
22日(日)	10:00 ~ 11:00	アカベラ	
	11:40 ~ 12:40	ダブルダッチ	
	14:00 ~ 15:00	ダンス	

大講義室イベント(28日)			
日程	時間	企画・団体	
28日(土)	11:00 ~	コスプレコンテスト	
	13:00 ~	軽音サークル発表	

大講義室イベント(29日)			
日程	時間	企画・団体	
29日(日)	11:00 ~	海外派遣KANESHASHIProjectミニ発表会	
	11:30 ~	ビンゴ大会	
	13:00 ~	ダンスサークル発表	

○両日同時開催 お化け屋敷/リサイクル市(図書館で不要となった本を安値で販売)/ゼミ企画(飲食物販売)

滝沢キャンパスではオープンキャンパスも同時開催!!10月21日(土)・22日(日)

大学祭ではオープンキャンパスも実施されます。大学祭を楽しみながら、県立大での学び・生活への理解を深めよう!!
■オープンキャンパスイベント(10:00~17:00他)/大学紹介・入試相談や学部を身近に感じる体験・紹介イベント、在学生の「キャンパス・アテンダント(CA)」による相談など、県立大の魅力を伝えるイベントが満載。ぜひお立ち寄りください。詳しくは<http://www.iwate-pu.ac.jp/>



産業復興



総合政策学部 講師

平井 勇介

埼玉県出身。富山大学理学部を卒業後、就職を経て環境社会学を学ぶため筑波大学に編入。早稲田大学大学院に進み人間科学研究科博士課程修了。2015年から岩手県立大学総合政策学部講師。休日は、4歳になる娘と遊ぶのがもっぱらの楽しみ。



総合政策学部 准教授

楽田 但馬

京都府出身。立命館大学法学部を卒業後、同大学院政策科学研究科修士課程修了、経済学研究科博士課程単位取得満期退学。2007年に岩手県立大学総合政策学部に着任。農村活性化をテーマにした研究が縁で「岩手県洋野町ふるさと大使」も務めている。



総合政策学部 准教授

近藤 信一

三重県出身。早稲田大学社会科学部を卒業後金融機関に就職。国際関係学を学ぶため立命館大学大学院国際関係研究科に進み修士課程修了、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程単位取得満期退学。(財)機械振興協会経済研究所の研究副主幹等を経て2013年に岩手県立大学総合政策学部に着任。専門は経営戦略論。

研究の「バトン」を受け、パワーアップ 被災地の水産業を「成長産業」に！

岩手県の主な産業のひとつでありながら、人材不足や高齢化など衰退が進む三陸沿岸の水産業。岩手県立大学では「東日本大震災津波からの復興加速化プロジェクト研究」としてその課題に取り組み、総合政策学部・新田義修先生のチームが「水産加工流通業の競争力強化と雇用の拡大」をテーマに考察を行ってきた。

その研究を「企業間連携」「協業化」「高付加価値化」といった別の視点から補強し、質・量的にもパワーアップさせよう、と意気込むのが、経営戦略論や中小企業論を専門とする近藤信一先生と、財政学、地域経済論の楽田但馬先生だ。テーマは「被災地における水産業のイノベーション」。経営組織論を研究する多摩大学・野坂美穂先生をメンバーに加え、水産業を「成長産業」へと転換していくためのプロセスを考察・検証していく。

「私は外部との競争戦略や企業間連携、楽田先生は地域や行政など周辺環境との関わり、野坂先生は経営組織論に基づく内部の組織改革、といったように、3人がそれぞれの専門性や知見を持ち寄り、補い合うことで複合的な研究が実現できる」と近藤先生。今後はインタビュー調査などで集めたデータをもとに仮説を立て、それを現場で検証する実証研究を行う予定だ。

「頭の中で考えた理論はあくまで仮説。現地でそのまま通じることはほとんどない。だけど、その想定外の驚きや発見に出会えるところが、研究のおもしろいところ」。そう語ってくれた近藤先生と楽田先生。本格的な研究はこの秋始まったばかり。水産業の復興が待たれる三陸で、どんな「驚きと発見」に会えるだろうか。

多様な物差しで「復興感」を指標化し 被災地の「本当の復興」を支えたい

東日本大震災津波以降、地域に根ざした大学としてさまざまな復興支援活動を行なっている岩手県立大学。総合政策学部では、震災直後から「地域コミュニティの復興研究」というプロジェクトを立ち上げ、それぞれの教員が研究活動を行なってきた。平井勇介先生が今年春から取り組んでいる「生活復興感の指標化」も、そのひとつだ。

「生活復興感(復興に対する実感)は、復興政策を進める上での重要なキーワード。これまで復興感を測るアンケート調査は、世帯収入や家の再建といった経済的・心理的な側面からのアプローチが一般的でした。しかし現地で話を聞くと、被災地の住民が望む生活復興は、地域の文化的・社会的な側面とも深く関連していて、単純な物差しでは測りきれない。もっと多様な側面から復興感を測ることができれば、より住民の思いに寄り添った復興政策やまちづくりに還元できるのではと考えました」。

この研究は大船渡市の協力のもと、フィールドワーク(質的調査)を担当する平井先生と茅野恒秀先生(信州大学)、アンケート調査(量的調査)を担当する本学の堀籠義裕先生、金澤悠介先生(立命館大)、阿部晃士先生(山形大学)が連携し行われる。地域文化の多様性を指標にあってはめることはとても難しいため、今後の復興政策に大きく貢献することが期待されるが「実際に政策に取り入れられるようになるのはまだ先。10年あっても足りないくらい」と平井先生。まずは3年後を目処に、暫定的な指標を設定するのが目標。「この研究を通じて、地域が望む復興のかたちを見つめたい」と意気込む。

復興実感



7.2

滝沢キャンパス オープンキャンパスを開催

全学を挙げて実施したオープンキャンパス。おかげさまで、約2,400人のご来場をいただきました。進路選択を前にした高校生の方はもちろん、保護者の方もお越しくださり、多くのイベントをおし岩手県立大学を「体験」していただきました。特に模擬講義は、満席となる学部もありました。



7.23, 8.20

宮古キャンパス オープンキャンパスを開催

宮古キャンパスを会場にオープンキャンパスを開催し、県内外からたくさんの方にお越しいただきました。先生と学生がガイドする施設見学や、普段はなかなか入ることのできない研究室見学も企画し、『宮短』について深く知っていただく機会となりました。



8.3

盛岡さんさ踊り 8年連続の「最優秀賞」を受賞

「つなぐさんさ」を目標に掲げ、8月3日に出場した盛岡さんさ踊り。先輩から後輩へ受け継がれてきた迫力あるパフォーマンスは今年も盛岡の夜を彩り、8年連続の「最優秀賞」をいただきました。たくさんのご声援、ありがとうございました。



8.5-6

いわて創造学習 フィールドワーク

雫石町にて基礎教育科目いわて創造学習のフィールドワークを行いました。『地域政策』と「住民の取り組み」から始まる雫石の地域活性』をコンセプトに、雫石町の施設やイベントを巡り、2日間をとおり地域創造について学びました。

KENDAI NEWS

岩手県立大学のニュースやイベントなど、旬のトピックスをご紹介します。



6.19

宮古キャンパス スポーツ祭を開催

毎年恒例のスポーツ祭が開催されました。ゼミ対抗の各競技では白熱した試合が繰り広げられ、この日の宮短は普段とは違う学生たちの一面が大いに盛り上がり、良いスポーツ祭となりました。優勝したのは、岩田・神谷ゼミのみなさんです。



7.14

七夕祭を開催

学生会中央委員会主催の七夕祭が開催されました。工夫が凝らされた模擬店や、日頃の練習成果が披露された各サークルのステージ発表のほか、学食では特別メニューも楽しめます。構内は歌声や楽器の音色、おいしい香りで包まれ、いつもとは違う金曜日の、穏やかな夕刻を過ごすことができました。



7.22-29 8.5

公開講座を開催

「ここからはじまる、いわての未来」と題して、平成29年度岩手県立大学公開講座・滝沢キャンパス講座(全7講座)を開催しました。講師となった本学教員へは、講座終了後高校生を含む多くの方から質問・意見が寄せられ、未来について考えるきっかけとなる場になりました。



7.27

全国知事会議へ本学も参加

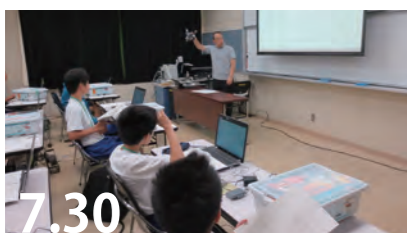
本県で開催された全国知事会議に本学学生も参加し、復興ボランティア活動、学生ベンチャー企業活動などのPRブースを設けました。昼食時間になると全国の知事や関係者の方々が足を運んでくださり、直接説明を行うこともできました。



7.29 8.4,9

サイエンスキッズを開催

ソフトウェア情報学部主催のイベント、おでんせ!サイエンスキッズ2017を開催しました。コンピュータ好きの児童や生徒を育てることを目的とした、5つの体験授業からなるイベントです。本学の教員と学生とともに、熱心にコンピュータ科学に挑戦していました。



7.30

みやこロボットプログラミング教室を開催

宮古短期大学部で宮古市内の中学生を対象とした『みやこロボットプログラミング教室』を開催しました。本学の教員と学生が講師となり、プログラミングの基礎を学ぶものです。課題コースの走破を目指し、何度も試験走行させるなどした結果、8台のうち2台が走りました。



8.4

オープンラボを開催

8月から順次開催している、高校生を対象とした研究や授業体験ができるイベントのオープンラボ。今年度の第1弾を盛岡短期大学部で開催しました。内容は『真夏の雪の科学 ～雪と氷の実験～』です。雪の結晶を作ったほか、在学生との進路相談なども活発にされていました。



8.7

特別聴講学生の修了式を挙げる

中国 大連交通大学からの特別聴講学生5名の修了式を挙行しました。5名のみなさんは、ソフトウェア情報学部での1年間の聴講を通し、岩手や日本についての理解を深めました。鈴木厚人学長からは、人工知能にまつわる紙芝居が贈られました。



8.8

新技術説明会へ参加

JST東京本部別館にて開催された『新技術説明会』に本学も参加しました。情報、医療・福祉の分野などにおいて、大学から生まれた研究成果(特許)の実用化(技術移転)を目的とし、発明者が自ら発表及び個別面談を行いました。



8.26

たきざわ学生フェスで発信・交流

ビッグルーフ滝沢で開催された、たきざわ学生フェスに、本学では大学紹介や国際交流のブースを設けました。またサークル発表やパネルディスカッションなども通し、地域や企業の方と交流する機会となりました。



8.29

地方創生情報交換会を開催

今年度第2回目となる、地方創生情報交換会を本学で開催しました。県内市町村や金融機関の方々と、情報や意見を交換することを目的としたものです。市町村の方々からは、総合戦略、インターンシップ、産業振興をテーマに、現場の観点から事例発表をしていただきました。

編集後記

今回の号は、構成・デザインをリニューアルしての初回の発行です。中期計画を軸に、教育・研究・地域のフィールドから岩手県立大学の魅力をお伝えしていく予定です。2018年に創立20周年を迎える本学について、広く多くの皆様へお伝えできたら幸いです。また、本誌でもご紹介させていただきましたが、10月には滝沢・宮古両キャンパスで大学祭を開催します。学生は当日へ向け、準備に励んでいるところです。皆様のご来場をお待ちしております。(企画室和山)

岩手県立大学のホットな情報発信中!

岩手県立大学では、お知らせやイベント情報などをリアルタイムに発信するためTwitter公式アカウント【@lwate-puPR】、Facebook、YouTubeで情報提供を行っています。ぜひ、ご覧ください。



広報誌へのご意見・ご感想や、広報に関する皆様のご意見を企画室までお寄せください。
TEL.019-694-2005 FAX.019-694-2001
E-mail:management@ml.iwate-pu.ac.jp